

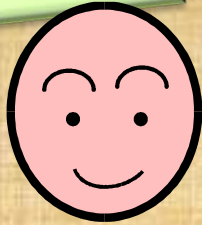
伸びる！

繋がる！

広がる！



安心・安全



治水ネットワーク

寝屋川流域の

寝屋川南部地下河川と流域下水道増補幹線は、
6月1日に一体貯留運用(96万 m^3)を
供用開始します。

伸びる！

寝屋川南部地下河川は、9.2kmから11.2kmに、2km延伸します。

寝屋川南部流域下水道増補幹線は、新たに24km供用開始します。

繋がる！

寝屋川南部地下河川と流域下水道増補幹線は、4か所で繋がります。

広がる！

巨大な地下空間で浸水被害から守られるエリアが、2,300haから6,100haに、3,800ha拡大します。

伸びる！寝屋川南部地下河川

- ① 今回供用開始する区間 2km(貯留容量 8万 m^3)
- ② すでに供用している区間 9.2km(貯留容量 55万 m^3)

伸びる！寝屋川南部流域下水道増補幹線

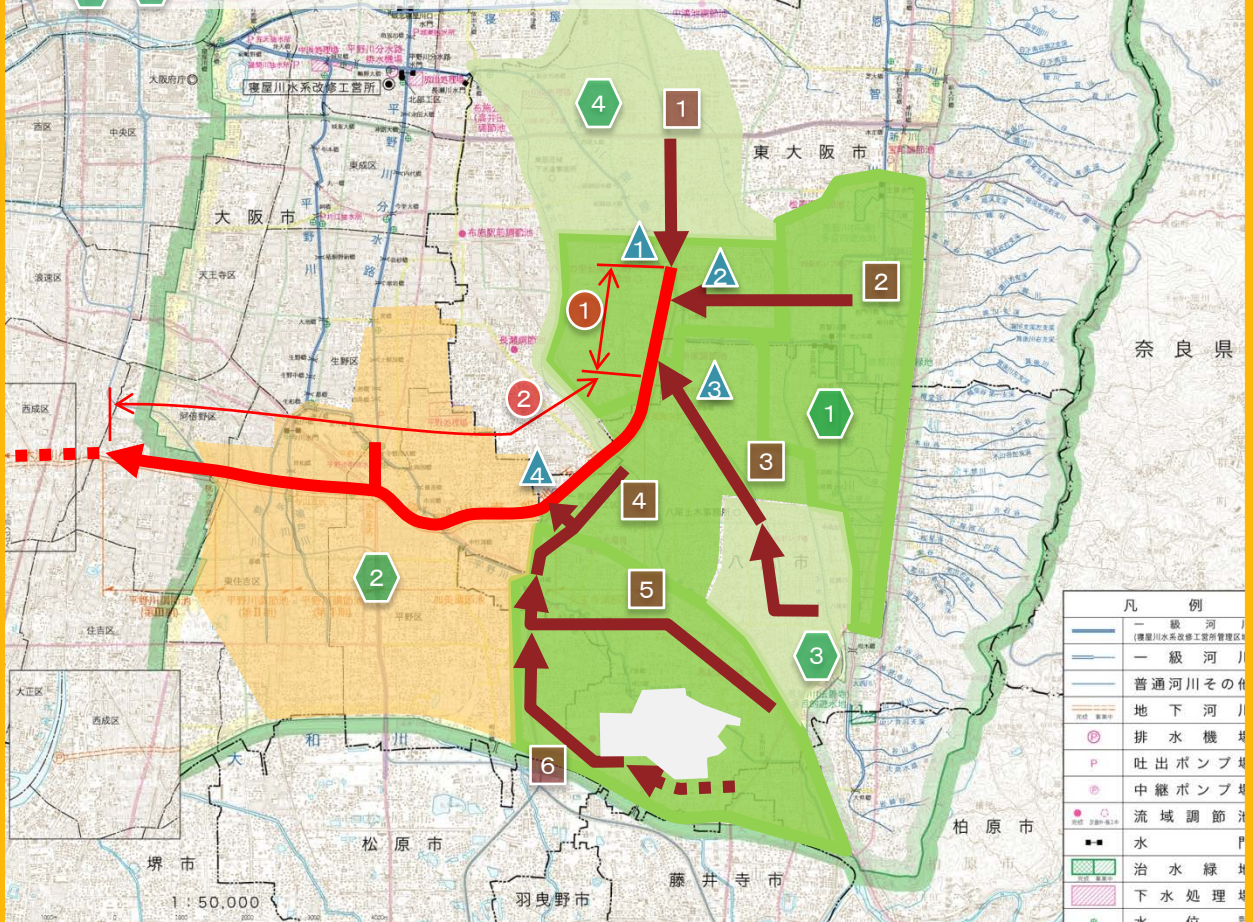
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 今回供用開始する区間 24km(貯留容量 33万 m^3)

繋がる！地下河川と増補幹線

- ① ② ③ ④ 4箇所地下河川と増補幹線が繋がります。

広がる！水害に強い街

- ① 今回効果が発現するエリア 3,800ha
- ② すでに効果が発現しているエリア 2,300ha
- ③ ④ 今後効果が発現する予定のエリア 1,700ha



一体貯留運用 96万 m^3 (25mプール3,200杯分)※

寝屋川南部地下河川

63万 m^3

寝屋川南部流域下水道増補幹線 33万 m^3

※南部地下河川の全体計画13.4kmが完成すると、木津川へ放流します。



ココが大阪ならではの治水対策

寝屋川流域は、急激な都市化により、アスファルトやコンクリートなどで、地表が覆われたため、大雨が降ると、まちに雨水があふれやすくなってきました。

このため、治水施設を整備し、雨に強いまちづくりをする必要がありましたが、地上部は、河川を掘げられない、ポンプ場を増やせない密集市街地となっていました。

そこで、大阪府では、新たに土地を求めることが極めて困難である密集市街地の課題を克服しより多くの大雨を流すため、新たな治水対策として、地下に新たなトンネル(地下河川)と、地下河川まで直接雨水を集めて流す新たな下水道管(下水道増補幹線)を一体的に整備することで、地下河川と下水道増補幹線は直接地下で繋がり、雨水を放流する地下のネットワークを作り出しました。

この、地下河川と下水道を直接つなぐ整備方式は大阪独自のもので全国唯一です。

なお、地下河川流末ポンプ場の完成までは、暫定的に貯留施設として運用します。

今回の供用開始により、1時間に40mmを超える雨でも、ほとんど浸水被害が発生しなくなります。



数字で見る地下河川・下水道増補幹線

96万立方メートル

地下河川・下水道増補幹線あわせて、96万立方メートル(25mプール3,200杯分)の雨水を貯留します(既供用開始済の55万立方メートル含む)。

深さ25m、直径22m

若江立坑は、深さ25m、直径22m。8階建てのマンションがすっぽり入るほどの大きさです！

最大管径9.8mと6m

地下河川の管径は、直径9.8~6.9m、下水道増補幹線は、直径6~1m、自動車も走行できる大きさです。

広がる！水害に強い街

地下空間にある巨大な地下施設(地下河川、増補幹線)で浸水被害から守られる区域が、2,300haから6,100haに、**3,800ha** 拡大します。

吹田市の面積と同程度です。

